

地域猫活動について

【調査の目的】

近年、動物愛護意識の高まりから、飼い主の飼養放棄が減少したことで、犬・猫の致死処分数は減少傾向にあります。

一方で、飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）による生活環境被害の相談は依然多くあり、また、その猫が産んだ子猫の行政機関への引取依頼は後を絶たず、猫の引取数の85%がそれら飼い主のいない猫です。

県では、飼い主のいない猫対策として、市町村と地域住民が協働で実施する地域猫活動の支援を行っていますが、屋外にいる猫の中には、飼い主が放し飼いをしている、飼い主ではないが餌を与えられているなど地域住民と関わりのある猫が一定程度存在しています。

そこで、飼い主のいない猫など屋外にいる猫の現状について皆さまのご意見をお聴かせいただき、今後の地域猫活動など猫に関する施策の参考とさせていただきたいと思えます。

【活用状況】

- ・ 飼い主のいない猫に関する取組みにおいて、今後のさらなる充実を図るための参考とします。
- ・ 市町村、保健所等、関係機関に情報共有します。

(保健医療介護部生活衛生課)

※地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに地域住民が主体となり、不妊・去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適正に管理する活動。本活動により管理されている猫を地域猫という。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。

※ 現在、県が行っている支援

- ・ 市町村と地域住民とが行う地域猫活動に対する技術的な助言等の支援
- ・ 不妊・去勢手術費用の助成

問1 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

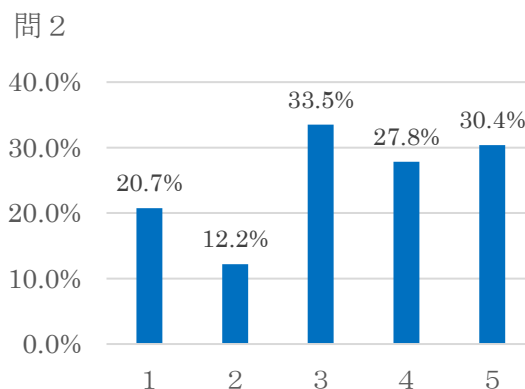
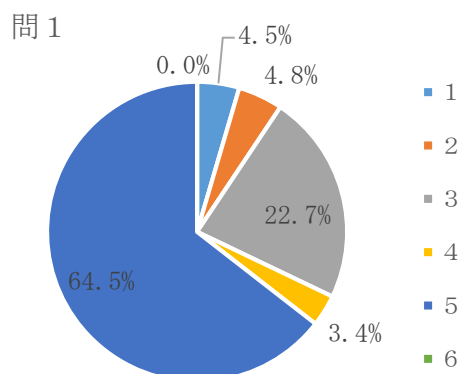
(N=352 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	16	4.5%
2 地域猫活動は行っていないが、県の支援事業は知っていた	17	4.8%
3 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	80	22.7%
4 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	12	3.4%
5 どちらも知らなかった	227	64.5%
6 その他	0	0.0%

問2 ご自宅の近所（屋外）に猫はいますか。また、その猫をお世話する方はいますか。3年以内の状況を教えてください。

(N=352 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫がいる。	73	20.7%
2 飼い猫かは不明だが、誰が餌をやっているのかわかっている猫がいる。	43	12.2%
3 飼い主が不明で、誰が餌をやっているかわからない猫がいる。	118	33.5%
4 飼い主のいない猫がいる。	98	27.8%
5 近所に猫はいない。	107	30.4%



問3 (問2で「1」又は「2」を選んだ方にお尋ねします。)

飼い主あるいは餌を与えている方の家族構成を知っていますか。

(N=104 選択は複数)

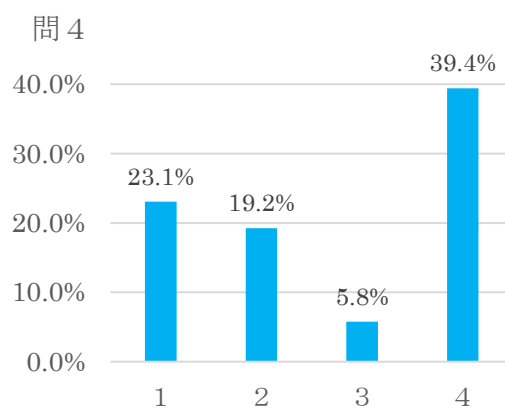
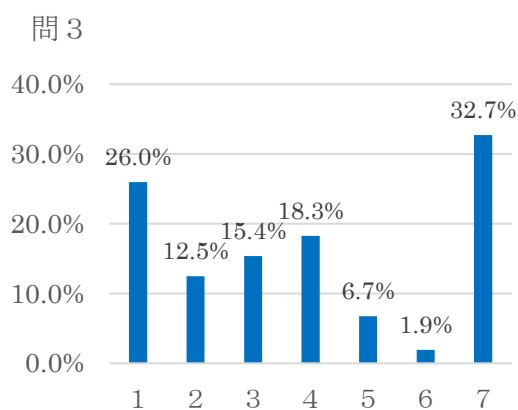
選択肢	回答数	割合
1 高齢者を含む一世代(独居又は夫婦のみ)	27	26.0%
2 高齢者を含む二世以上(高齢者+子供世帯)	13	12.5%
3 高齢者を含むが、家族構成は不明	16	15.4%
4 高齢者を含まない一世代	19	18.3%
5 高齢者を含まない二世以上	7	6.7%
6 高齢者は含まないが、家族構成は不明	2	1.9%
7 わからない	34	32.7%
(無回答)	2	-

問4 (問2で「1」又は「2」を選んだ方にお尋ねします。)

飼い主あるいは餌を与えている方は、他人との関わりがどのくらいあるかご存じですか。

(N=104 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 地域のイベントに積極的に参加するなどの近所付き合いがある。	24	23.1%
2 家族・親戚との関わりはあるものの、近所付き合いはほとんどない。	20	19.2%
3 人付き合いはなく、孤立している。	6	5.8%
4 わからない	41	39.4%
(無回答)	18	-



問5 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思いますか。

(N=352 選択は2つまで)

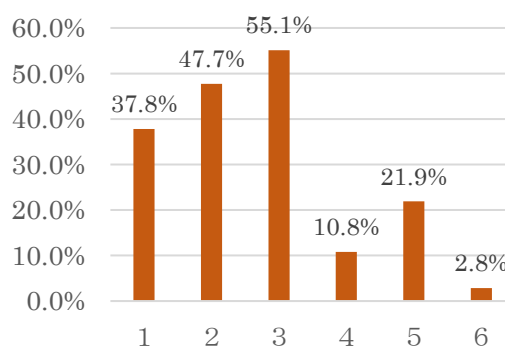
選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない。	133	37.8%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う。	168	47.7%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊・去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する。	194	55.1%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる。	38	10.8%
5 飼い主のいない猫は、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する。	77	21.9%
6 その他	10	2.8%
計	620	176%

※ 3つ以上選択した回答（10名分）も計上しています。

[その他] (カッコ書きは回答数)

- ・適正飼養、適正管理の啓発（1）
- ・猫の登録制など飼い主が把握可能な制度（2）
- ・不妊去勢手術費用の補助（1）
- ・駆除、殺処分する（1）
- ・食用とする（1）
- ・猫による被害の実態を記載（2）
- ・野良猫を許容できる社会の構築（1）

問5



問6 あなたは、現在、猫を飼っていますか。または過去に猫を飼ったことがありますか。

(N=352 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 現在、5匹以上飼っている	0	0.0%
2 現在、1～4匹飼っている	16	4.5%
3 現在は飼っていないが、過去に5匹以上飼っていた	3	0.9%
4 現在は飼っていないが、過去に1～4匹飼っていた	44	12.5%
5 これまで飼ったことはない	289	82.1%

問7 (問6で「1」から「4」までを選んだ方にお尋ねします。) どこで飼っています(飼っていました)か。

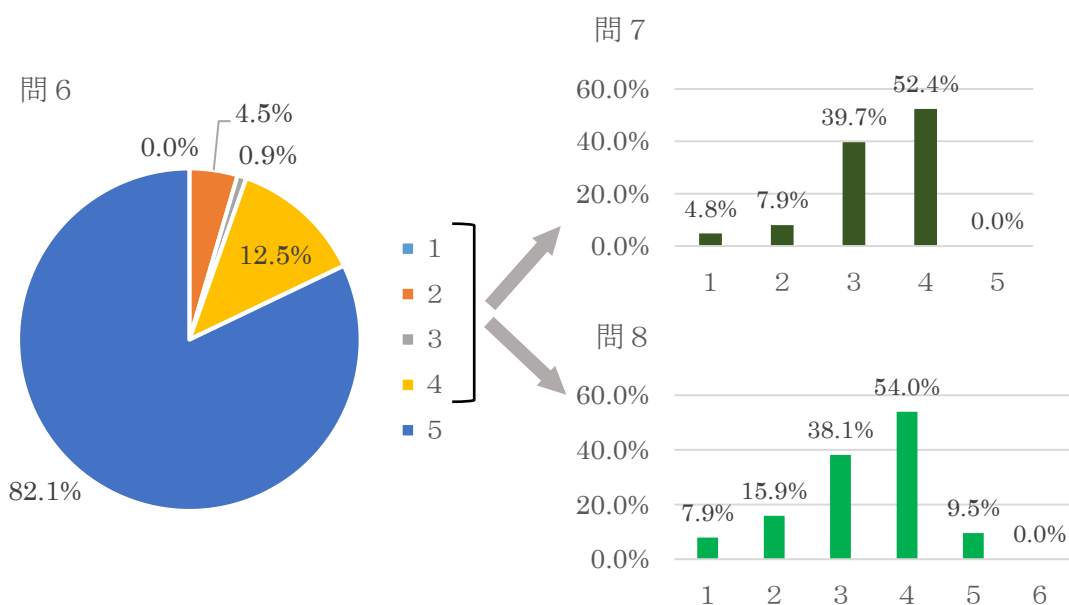
(N=63 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 基本的に屋外で飼育	3	4.8%
2 屋外と屋内を自由に行き来できる状態で飼育(主に屋外)	5	7.9%
3 屋外と屋内を自由に行き来できる状態で飼育(主に屋内)	25	39.7%
4 屋外には出さず、屋内で飼育	33	52.4%
5 その他	0	0.0%

問8 (問6で「1」から「4」までを選んだ方にお尋ねします。) どのようなきっかけで猫の飼い主になりましたか。

(N=63 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ペットショップ・ブリーダーから購入した。	5	7.9%
2 動物愛護センター・動物病院・動物愛護団体などから譲り受けた。	10	15.9%
3 友人・知人から譲り受けた。	24	38.1%
4 迷子の猫を保護し、その後飼い主となった。	34	54.0%
5 飼育している猫が生んだ。	6	9.5%
6 その他	0	0.0%



問9 地域猫活動について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(N=352 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 ある（次の設問で具体的に入力してください）	46	13.1%
2 特にない	306	86.9%

[ご意見（抜粋）]（カッコ書きは類似回答数）

○地域猫活動に関するもの

- ・適切な地域猫活動の広報が必要。（9）
- ・地域猫活動は、管理責任を明確にし、地域へ周知することが重要である。（1）
- ・地域猫活動の内容や効果が知りたい。（4）
- ・不妊去勢手術費用の補助制度が必要。（1）
- ・官民連携して取り組んでほしい。（1）
- ・鳴き声、糞尿などの生活環境被害を受けている。（6）
- ・外にいる猫への餌やりを禁止するなど規制を強くしてほしい。（3）
- ・捕獲できるようにしてほしい。（2）

○その他ご意見

- ・ペット購入税などを導入し、保護活動に充当したらどうか。（1）
- ・飼い主が適正に管理することが大事。（8）
- ・多頭飼育者への対策が必要。（1）
- ・高齢者が飼育するペットや餌やりしている猫への対策が必要。（2）
- ・殺処分がゼロになるよう譲渡活動が広がってほしい。（1）
- ・動物虐待などで、小さな命が奪われない社会になってほしい。（3）
- ・感染症が怖い。（2）
- ・犬の適正管理の啓発についても積極的に活動してほしい。（1）
- ・猫以外の動物に対する助成金の情報が知りたい。（1）